

## 第4学年図画工作科学習指導案

日 時 平成16年10月1日(金)5校時  
場 所 藤沢町立藤沢小学校  
児 童 男子10名 女子17名 計27名  
指導者 片山 悦子

1. 題材名 「主人公になって」 表現(2) 表したいことを絵に表す

2. 題材について

(1) 題材について

本題材は、物語を楽しみ、主人公の気持ちになって絵に表すものである。学習指導要領の中学年の目標(2)「材料などから豊かな発想をし、手や体全体を十分に働かせ、表し方を工夫し、つくりだす能力、デザインの能力、創造的な工作の能力を伸ばすようにする。」を主なねらいとし、指導内容A表現の(2)のア「表したいことを表すために、形や色、材料などを生かし、それらの組合せの感じに関心を持ち、美しさや用途などを考え、計画を立てるなど工夫して表すこと。」と(2)のイ「表したいことに合わせて、前学年までに経験した材料や用具、板材などの特性を生かすとともに、手を十分に働かせて水彩絵の具、小刀、使いやすいのこぎりなどの用具を工夫して使い、絵や立体に表したり、つくりたいものをつくったりすること。」を受けて設定した題材である。

題材「主人公になって」は、物語の想像の世界を主人公になりきって十分に楽しみ、心に残った場面を選んで絵に表し、場面の感じが出るように、構成や色を工夫して絵に表すことをねらいとしている。表したいことを表すために、構成を考え、水彩絵の具を工夫して使うことによって、創造的な能力を伸ばすのに適していると考ええる。

(2) 児童について

図工の時間を楽しみにしている児童が多い。朝活動で読書に取り組んでいるため、読書好きの子どもが多い。しかし、感想を言葉で表現したり、絵に表したり、という活動に対しては苦手意識をもっている。また、自分の表現に自信が持てず、友達のをそのまままねてしまう子どももいる。それは、自分の表したいことのイメージが明確にもてない、表したいことを表す技術の不足、友達との違いをよさではなく逸脱ととらえる傾向があると考ええる。このような子どもに対しては、つまずきの原因を探り、適切な言葉かけや技術指導を行い、自信をもって楽しく表現できるようにしていきたい。

話し合い、教え合いを通して、友達のよさを認め、自分の作品のよさに気付かせながら、最後まで楽しんで活動させたい。

(3) 指導にあたって

話し合いや教え合いを通して、友達のよさを見つけたり、自分の作品を見つめたりするために、同一の物語(「金の鳥」)を絵に表す。CDによって聴覚から物語をイメージし、自分が主人公になったような気持ちで想像をひろげ、場面を思い描けるようにしたい。明確なイメージがもてない子のために、教室には常にCDを準備しておき、繰り返し作品に触れることができるようにする。

下絵の段階では、大きさや配置を考えさせ、場面の感じが出るようにするにはどうしたらよいか考えさせたい。

彩色の段階では、表現技法を学習し、場面の感じが絵に表せるように工夫しながら取り組ませたい。また、その技法を試すコーナーや彩色の参考資料(絵本など)を準備しておき、活動させたい。

鑑賞の段階では、友達のよさをみつけながら、自分のよさにも気付かせたい。自分の表現に自信を持たせ、次へのステップとしたい。

### 3. 題材の目標

- (1) 物語を聞いたり、読んだりして、自分が主人公になって活躍することを想像して楽しむとともに、表したいことが表れるように、かくことを楽しもうとする。  
【造形への関心・意欲・態度】
- (2) 物語の内容をもとに、自分の表したいことを思い付き、色や構成などを考え、表したいことの見通しをもつ。  
【発想や構想の能力】
- (3) 画用紙や色画用紙、水彩絵の具の特性を生かし、表したいことが表れるように色や構成を工夫する。  
【創造的な技能】
- (4) 友人の活動や作品を見て、表し方の感じの違いに気付き、自分の言葉で話したり、人の話を聞いたりしながらいろいろな感じ方や見方があることを知る。  
【鑑賞の能力】

### 4. 題材の学習・評価計画(6時間)

#### (1) 題材の評価規準

##### 《A表現(2)》

造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能
自分が表したい場面を表すために、色や描き方などに関心を持ち、いろいろ試しながら描くことを楽しもうとする。	自分の表したいことを思い付き、それに合わせて、色や表現技法などを考え、表し方の見通しをもつ。	画用紙や水彩絵の具などの材料用具の特性を生かし、表したいことが表れるように描き方を工夫する。

##### 《B鑑賞(1)》

造形への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
自分や友達の感じ方や表し方の違い、よさや面白さなどに関心をもとうとする。	自分や友達の感じ方や表し方の違いが分かるとともに、表現活動や作品のよさや面白さなどについて、話したり聞きあったりしながら関心をもって見る。

#### (2) 学習計画と学習活動における具体的評価規準

時間	学習内容	学習活動における具体的評価規準 (Cへの手立て)【評価方法】
1	物語のイメージの世界を楽しみながら聞く。	《関 A》物語の世界を想像することを楽しみ、絵に表したい場面を自ら選び、友達や教師に積極的に話そうとする。 《関 B》物語の世界を想像することを楽しみ、絵に表したい場面を選ぼうとする。【発言・学習カード】 (C:個別に言葉かけをしながら場面が想像できるようにする。)
	物語について感想を話し合う。	《発 A》自分で想像を広げ、表したい場面の具体的なものを詳細に思い付く。 《発 B》表したい場面の具体的なものを思い付く。【発言・観察】 (C:質問しながら、描きたい物を具体的に想像できるようにする。)
2	話し合いを参考に、画用紙に下絵をかく。	《技 A》自分の選んだ場面の感じがよく表れるよう、描く物の形や大きさなどを考えて描き直すなどしながら工夫して描く。 《技 B》自分の選んだ場面の感じが表れるよう、描く物の形や大きさなどを考えて思いのままに描く。【観察・下絵】 (C:描きたい物について形や大きさなどを質問しながら、具体的に想像できるようにする。資料を参考にさせたり、励ましたりしながら、自信をもって描けるようにする。)

3 4 本 時 5	自分の思いが表れるよう、表し方をいろいろ試しながら彩色する。	《技 A》水彩絵の具やそれを生かす筆など用具のいろいろな扱いを見付け、積極的に試すなどして色や表現技法などを選び、工夫して彩色する。 《技 B》水彩絵の具やそれをいかす筆など用具のいろいろな扱いを知り、工夫して彩色する。【観察・作品】 (C:描きたい物の材質や色などを質問しながら、色や表現技法を試させたり、資料や友達の作品を参考にさせたりしながら、自信を持って彩色できるようにする。)
		《発 A》色や技法によって作品の面白さが違うことを感じ、表したいことに合った色や技法を考える。 《発 B》色や技法を知り、表したいことに合った色や技法を考える。 【観察・作品】 (C:作例や友達の作品を参考にさせ、色や技法のよさを知らせる。)
		《鑑関 A》友達の作品を見て、よさや工夫に気付いて友達や教師に積極的に伝えたり、自分の作品に生かそうとしたりする。 《鑑関 B》友達の作品を見て、よさや工夫に気付く。【観察・発言】 (C:個別に言葉かけをしながらよさや工夫に気付かせるようにする。)
6	自分や友達の活動・作品について話し合い、よさなどを認め合う。	《鑑能 A》友達の作品を見たり、発表を聞いたりして、自分との違いがわかるとともに、よさやおもしろさについて具体的に発表することができる。 《鑑能 B》友達の作品を見たり、発表を聞いたりして、よさやおもしろさに気付く。【発表・学習カード】 (C:友達の作品を見たり、発表を聞いたりする中で、自他のよさを意識させる。感じたことを感じたままに話させる。)

上記の《A》は、十分満足できる状況《A》と判断できる様相の一例である。

## 5. 本時の指導(4/6)

### (1) 目標

自分が表したいことが表せるように、資料を参考にしたり、試しの活動をしたりしながら彩色する。

### (2) 準備

児童:水彩用具一式

教師:彩色の方法を表す資料、スパッタリングなどの道具

(3) 展 開

過程	学 習 活 動 ( 予想される児童の反応 )	教師の働きかけ 評価
<p>意欲付け 5分</p>	<p>1 前時の活動のふりかえり 前時の活動をふりかえる。</p> <p>・こんな色をつくって、 を塗りました。 ・スパッタリングで、塗りました。</p> <p>本時取り組んでみたいことを発表する。</p> <p>・主人公の服の色をどんな色にするか考えたいです。 ・スパッタリングで、バックを塗りたいです。 ・金の鳥がどうしたらきれいにみえるか、いろいろ試したいです。</p> <p>2 学習課題の確認 本時の学習課題を確認する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">見て、試して、色をぬろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時に必要な材料・用具の準備を確認しておく。</li> <li>・児童の作品を紹介し、前時を想起させたり、本時の活動の参考にさせたりする。</li> <li>・自分の表したいことが表せるように、友達の活動や資料を参考にしたり、試しの活動をしたりしながら、製作を進めていくことをとらえさせる。</li> </ul>
<p>表現 35分</p>	<p>3 彩色 資料を参考にしたり、いろいろ試したりしながら、思いに合わせて彩色する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">試しの活動をする</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">資料を参考にする</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">友達との学びあい</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">その他</p> <p>・いろいろ作ってみたけれど、この色が思い通りのものだ。 ・スパッタリングでバックを塗ることにした。 ・おおかみの色は、さんが教えてくれた色を混ぜて作ってみよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の様子を見ながら、具体的なよさを示して認めたり、対話を通して工夫できるころはないか考えさせたりする。</li> <li>・表したいことの手がかりが出るように、彩色の方法を試すことができるコーナーや資料のコーナーを設置する。</li> <li>・対話を通して、具体的な方法を紹介したり、友達の作品を参考にさせたりする。</li> </ul> <p>《発想や構想の能力》色や技法を知り、表したいことに合った色や技法を考える。 【観察・作品】</p> <p>《創造的な技能》水彩絵の具やそれをいかす筆など用具のいろいろな扱いを知り、工夫して彩色する。 【観察・作品】</p> <p>《鑑賞：造形への関心・意欲・態度》友達の作品を見て、よさや工夫に気付く。 【発表・学習カード】</p>
<p>鑑賞・まとめ 5分</p>	<p>4 本時の活動のふりかえり うまくできたところや工夫できたところなどを発表する。</p> <p>・おおかみの毛の感じがうまくなりました。 ・ぼかして、うすぐらい感じを出せました。 ・さんの教えてくれた色を自分で作ってみました。</p> <p>5 次時の活動の確認</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習カードを書いて活動をふりかえり、よさをみつけさせ、発表することで他の児童にも気づかせるようにする。</li> <li>・必要に応じて、次時の活動の参考となるような児童の作品を紹介する。</li> </ul>

(4) 板書計画

主人公になって  
見て、試して、色をぬろう

見る 友達 絵本 例

試す 色 方法

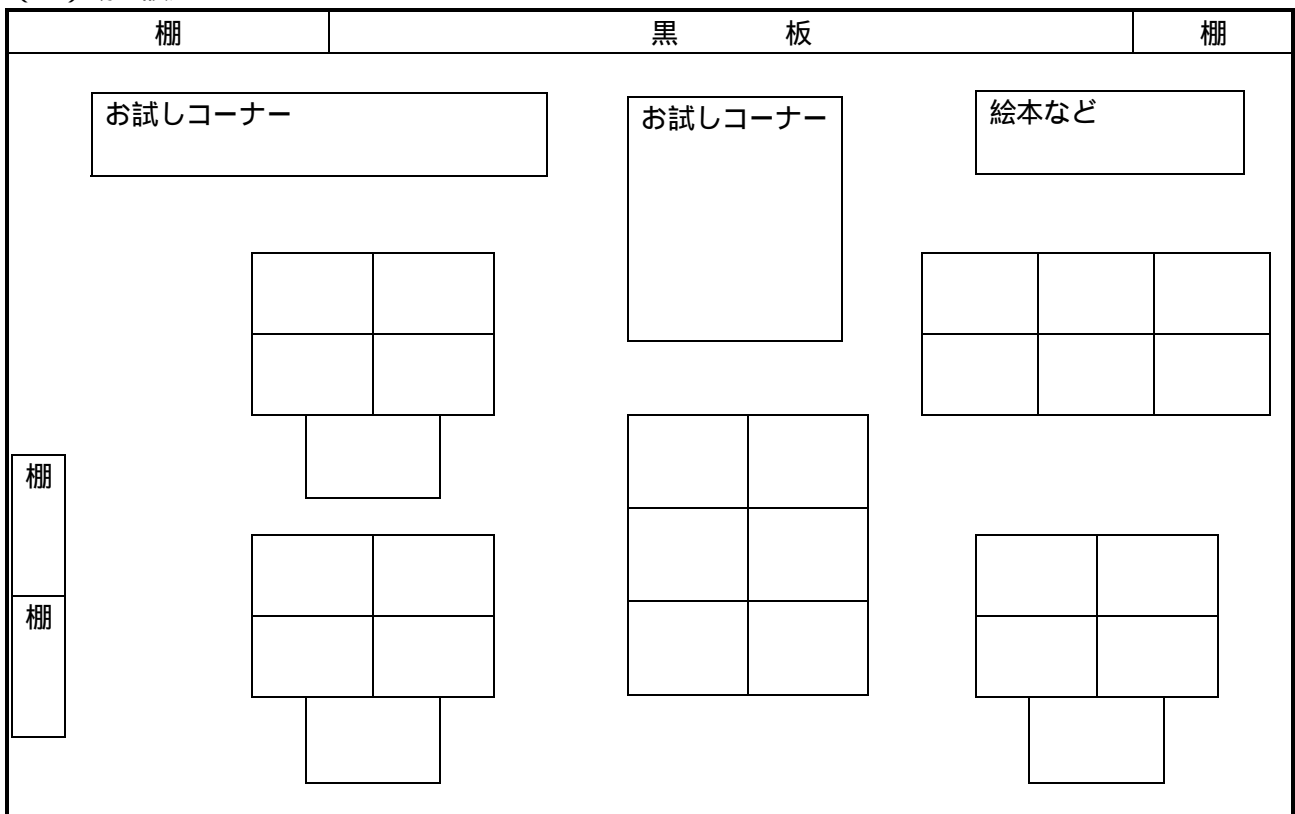
スパッタリ  
ング

ストロー

ローラー

ぼかし

(5) 場の設定



---

---

# 主人公になって

---

---

【自分のかきたい場面】

【登場人物など】

【ラフスケッチ】

名前 \_\_\_\_\_

【必要なもの】

--

	学習活動	がんばったところ
1	絵に表す場面を選ぶ	
2	下絵をかく	
3	いろいろな方法を知る	
4	見て、試して、色をぬる	
5	見て、試して、色をぬる	
6	作品発表	

【感想】

--